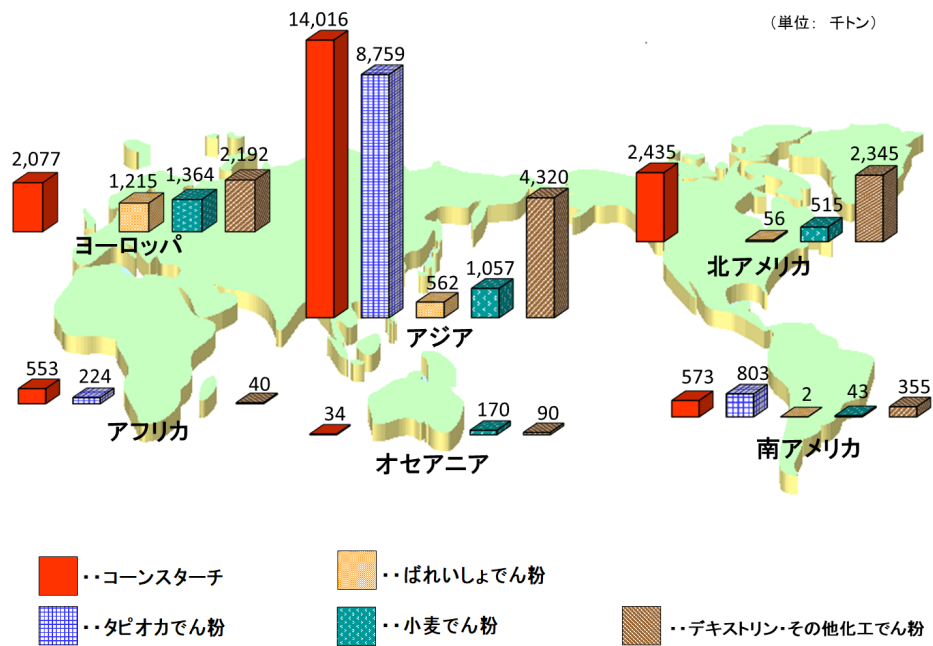


# でん粉の国際需給

調査情報部 水野 崇、針ヶ谷 敦子

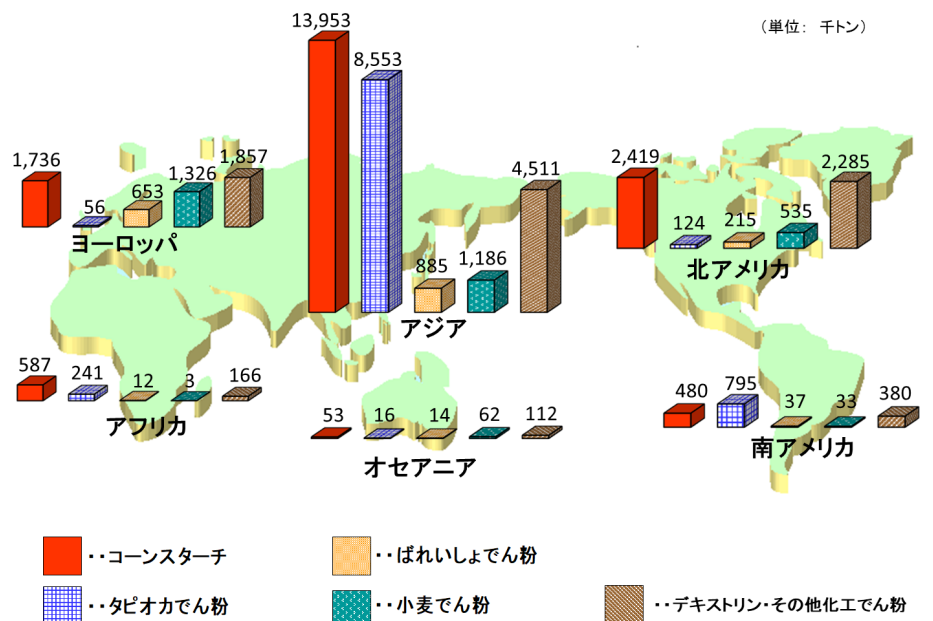
## 1. 世界のでん粉需給

図1 絵で見る世界のでん粉生産量（2020年）



資料：LMC International ※「Global Starch Supply & Demand Research Report」を基に農畜産業振興機構作成  
 (※農産物の需給などを調査する英国の民間調査会社)  
 注：ヨーロッパには、ロシアを含む。

図2 絵で見る世界のでん粉消費量（2020年）



資料：LMC International 「Global Starch Supply & Demand Research Report」を基に農畜産業振興機構作成  
 注：ヨーロッパには、ロシアを含む。

表1 トウモロコシ相場およびキャッサバ取引価格

年・月	シカゴトウモロコシ・期近 (セント/BU)			タイキャッサバ (パーツ/kg)	
	高 値	安 値	平均値	キャッサバ 農家価格	チップ 卸売価格
2015年	433.50	347.75	376.57	2.16	6.78
2016年	437.75	301.50	358.36	1.52	5.66
2017年	392.25	329.50	359.29	1.40	5.14
2018年	408.50	330.25	368.07	2.38	6.85
2019年	454.75	340.75	383.21	1.89	6.30
2020年	484.00	302.75	363.31	1.80	6.52
2021年	772.75	633.00	581.58	2.07	7.25
2021年2月	563.75	534.50	549.97	2.07	6.80
3	565.00	539.25	552.80	2.13	7.06
4	740.00	553.25	616.07	2.08	7.09
5	772.75	620.25	697.39	1.92	7.09
6	720.00	633.00	672.41	1.91	7.31
7	719.75	547.00	605.08	1.97	7.52
8	568.25	534.00	552.23	2.02	7.53
9	539.50	495.75	518.60	2.12	7.47
10	568.25	512.25	536.63	2.08	7.38
11	586.75	551.50	570.89	2.19	7.44
12	614.75	572.00	591.48	2.28	7.61
2022年1月	636.00	587.50	609.38	2.29	7.40
2	697.50	616.75	650.84		7.49

資料：CME Group、タイ農業協同組合省、タイ商務省

注1：1ブッシュェル（BU）は約25.401キログラム。

注2：タイキャッサバのチップ卸売価格は、アユタヤ県とチョンブリー県の価格を単純平均したもの。

注3：タイ農業・農業協同組合銀行（BAAC）研究・イノベーション開発センターによると、1～3月はキャッサバの収穫期にあたり供給量が増えるものの、輸出需要が引き続き高いことから、キャッサバ製品価格は、今後も高い水準で推移すると予測している。

## 2. 日本の品目別主要輸入先国の動向

本稿中の為替レートは2022年2月末日TTS相場<sup>(注)</sup>の値であり、1米ドル=116.55円、1タイバーツ=3.61円、1ユーロ=130.84円である。

(注) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「月末・月中平均の為替相場」の月末TTS相場。

## トウモロコシ・コーンスターチ

### 世界

#### 【需給動向：トウモロコシ】

#### アルゼンチンなどで単収減も、世界のトウモロコシ生産量は引き続き過去最高の見通し

米国農務省世界農業観測ボード（USDA/WAOB）および米国農務省海外農業局（USDA/FAS）は2022年3月9日、2021/22年度の世界のトウモロコシ需給予測値を更新した（表2）。

これによると、世界のトウモロコシ生産量は12億614万トン（前年度比7.4%増）と前月から79万トン上方修正され、引き続き過去最高の生産が見込まれている。最大の生産国である米国、第2位の中国と第3位のブラジルは、いずれも前月から据え置かれたが、EUに次ぐ第5位のアルゼンチンは、乾燥気候に伴う単収の減少から同100万トン下方修正された。また、主要生産国の南アフリカも、同じく乾燥気候に伴う単収減による生産量の減少が見込まれている。

輸出量は、世界全体で1億9990万トン（同10.0%増）と前月から377万トン下方修正された。うち、ウクライナは黒海沿岸の穀物積出港の港湾機能停止の影響などから600万トン下方修正された。一方で、米国はウクライナの輸出減を補うとの見込みから190万トン上方修正された。

輸入量は、世界全体で1億8563万トン（前年度並み）と前月から254万トン下方修正された。うち、最大の輸入国である中国は2600万トン（前年度比11.9%減）と前月から据え置かれた。

消費量は、世界全体で11億9662万トン（同5.1%増）と前月から145万トン上方修正され、引き続き前年度を上回ると見込まれている。うち、最大の消費国である中国は2億9400万トン（同3.2%増）と前月から据え置かれた。

この結果、期末在庫は3億97万トン（同3.3%増）と前月から125万トン下方修正されたが、前年度をやや上回ると見込まれている。

表2 主要国のトウモロコシの需給見通し（2022年3月9日米国農務省公表）

（単位：百万トン）

国名	2019/20年度	2020/21年度 (推計値)	2021/22年度		
			(2月予測)	(3月予測)	前年度比 (増減率)
米国					
期首在庫	56.41	48.76	31.36	31.36	▲ 35.7%
生産量	345.96	358.45	383.94	383.94	7.1%
輸入量	1.06	0.62	0.64	0.64	3.2%
消費量	309.55	306.54	315.23	315.86	3.0%
輸出量	45.13	69.92	61.60	63.50	▲ 9.2%
期末在庫	48.76	31.36	39.11	36.57	16.6%
アルゼンチン					
期首在庫	2.37	3.62	1.42	1.02	▲ 71.8%
生産量	51.00	51.50	54.00	53.00	2.9%
輸入量	0.00	0.01	0.01	0.01	0.0%
消費量	13.50	13.50	14.00	14.00	3.7%
輸出量	36.25	40.60	39.00	39.00	▲ 3.9%
期末在庫	3.62	1.02	2.43	1.03	1.0%
ブラジル					
期首在庫	5.31	5.33	4.83	4.73	▲ 11.3%
生産量	102.00	87.00	114.00	114.00	31.0%
輸入量	1.66	2.90	2.00	2.00	▲ 31.0%
消費量	68.50	69.50	72.50	72.50	4.3%
輸出量	35.14	21.00	43.00	43.00	104.8%
期末在庫	5.33	4.73	5.33	5.23	10.6%
ウクライナ					
期首在庫	0.89	1.48	0.83	0.83	▲ 43.9%
生産量	35.89	30.30	42.00	41.90	38.3%
輸入量	0.03	0.02	0.02	0.02	0.0%
消費量	6.40	7.10	7.90	10.90	53.5%
輸出量	28.93	23.86	33.50	27.50	15.3%
期末在庫	1.48	0.83	1.45	4.35	424.1%
中国					
期首在庫	210.18	200.53	205.70	205.70	2.6%
生産量	260.78	260.67	272.55	272.55	4.6%
輸入量	7.58	29.51	26.00	26.00	▲ 11.9%
消費量	278.00	285.00	294.00	294.00	3.2%
輸出量	0.01	0.00	0.02	0.02	-
期末在庫	200.53	205.70	210.24	210.24	2.2%
世界計					
期首在庫	322.35	306.33	292.05	291.45	▲ 4.9%
生産量	1,119.60	1,123.28	1,205.35	1,206.14	7.4%
輸入量	167.66	185.69	188.17	185.63	0.0%
消費量	1,135.62	1,138.16	1,195.17	1,196.62	5.1%
輸出量	172.25	181.76	203.67	199.90	10.0%
期末在庫	306.33	291.45	302.22	300.97	3.3%

資料：USDA/WAOB「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

注：各国の穀物年度 世界、米国：9月～翌8月/ウクライナ、中国：10月～翌9月/アルゼンチン、ブラジル：3月～翌2月。

## 米 国

### 【需給、価格動向：トウモロコシ】 国内消費量と輸出量の上方修正によりトウモロコシの期末在庫は9%台に

USDA/WAOBは2022年3月9日、2021/22年度（9月～翌8月）の米国の主要農作物需給予測値を更新した。このうち、同国のトウモロコシ需給見通しは次の通りである（表3）。

生産量は、151億1500万ブッシェル（3億8394万トン<sup>（注）</sup>、前年度比7.1%増）と前月から据え置かれた。引き続き、前年度からかなりの程度増加が見込まれており、これまでの統計で最も生産量の多かった16/17年度の151億4800万ブッシェル（3億8477万トン）に近い水準となっている。

消費量は、124億3500万ブッシェル（3億1586万トン、同3.0%増）と前月並みと予測され、引き続き、エタノール向け需要の増加（同6.3%増）が消費をけん引すると見込まれている。

輸出量は、米国がウクライナの輸出減を補うとの見込みから25億ブッシェル（6350万トン、同9.2%減）と前月からやや上方修正されたが、記録的な輸出量となった前年度からはかなりの程度減少が見込まれている。

期末在庫は、国内消費量と輸出量がいずれも上方修正されたことで、14億4000万ブッシェル（3657万トン、同16.6%増）と前月からかなりの程度減少する結果となった。

この結果、期末在庫率（総消費量に対する期末在庫量）は9.6%（同1.3ポイント増）とされ、10%台を割り込んだ。

また、生産者平均販売価格は、1ブッシェル当たり5.65米ドル（659円。1キログラム当たり25.9円）と前月からやや上方修正された。

（注）1ブッシェルを約25.401キログラムとして農畜産業振興機構が換算。

表3 米国のトウモロコシの需給見通し（2022年3月9日米国農務省公表）

区 分	－単位－	2019/20年度	2020/21年度 (推計値)	2021/22年度			
				(2月予測)	(3月予測)	参考（換算値）	前年度比 (増減率)
作付面積	(百万エーカー)	89.7	90.7	93.4	93.4	37.8 (百万ヘクタール)	3.0%
収穫面積	(百万エーカー)	81.3	82.3	85.4	85.4	34.6 (百万ヘクタール)	3.8%
単収	(ブッシェル/エーカー)	167.5	171.4	177.0	177.0	11.1 (トン/ヘクタール)	3.3%
生産量	(百万ブッシェル)	13,620	14,111	15,115	15,115	383.94 (百万トン)	7.1%
輸入量	(百万ブッシェル)	42	24	25	25	0.64 (百万トン)	4.2%
期首在庫	(百万ブッシェル)	2,221	1,919	1,235	1,235	31.36 (百万トン)	▲35.6%
総供給量	(百万ブッシェル)	15,883	16,055	16,375	16,375	415.94 (百万トン)	2.0%
国内消費量	(百万ブッシェル)	12,186	12,068	12,410	12,435	315.86 (百万トン)	3.0%
飼料など向け	(百万ブッシェル)	5,900	5,598	5,650	5,650	143.52 (百万トン)	0.9%
食品・種子・その他工業向け	(百万ブッシェル)	6,286	6,470	6,760	6,785	172.35 (百万トン)	4.9%
うちエタノール向け	(百万ブッシェル)	4,857	5,033	5,325	5,350	135.90 (百万トン)	6.3%
輸出量	(百万ブッシェル)	1,777	2,753	2,425	2,500	63.50 (百万トン)	▲9.2%
総消費量	(百万ブッシェル)	13,963	14,821	14,835	14,935	379.36 (百万トン)	0.8%
期末在庫	(百万ブッシェル)	1,919	1,235	1,540	1,440	36.57 (百万トン)	16.6%
期末在庫率	(%)	13.7	8.3	10.4	9.6		1.3ポイント増
生産者平均販売価格	(米ドル/ブッシェル)	3.56	4.53	5.45	5.65	25.9 (円/kg)	24.7%

資料：USDA/WAOB「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

注1：年度は、9月～翌8月。

注2：1エーカーは約0.4047ヘクタール。

## 【貿易動向：トウモロコシ】

### 12月の輸出量は前年同月、前月からかなりの程度増加し、価格は前月からわずかに上昇

米国のトウモロコシ輸出量は2021年4月から9月までは減少傾向が続いていたものの、21年12月は500万69トン（前年同月比7.1%増、前月比7.7%増）と前年同月および前月からかなりの程度増加した。同月の主要国別輸出量は、表4の通りである。

また、同月の輸出価格（FAS<sup>(注)</sup>）は、1トン当たり269.8米ドル（3万1445円、同31.2%高、同0.5%高）と前年同月から大幅に、前月からわずかに上昇した。

(注) Free Alongside Shipの略。貨物を船側に付けた段階で支払われる（FOB<sup>\*</sup>価格から横持ち料〈倉庫間の移動費〉、積み込み料、保険料などを差し引いた）価格。

※ Free On Board：貨物を船に乗せた段階で支払われる取引条件。

表4 米国のトウモロコシ輸出量（12月）

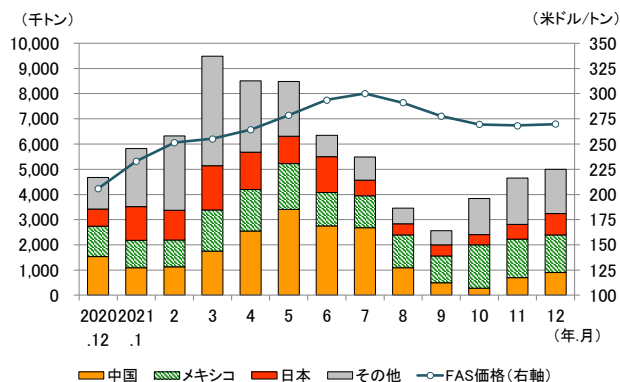
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	5,000,069	7.1%	7.7%
うち メキシコ	1,495,168	23.7%	▲1.7%
中国	898,994	▲41.2%	29.4%
カナダ	878,428	8.2倍	44.7%
日本	841,839	22.4%	41.9%
コロンビア	420,272	39.0%	▲6.9%
グアテマラ	88,357	▲11.7%	▲51.4%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1005.90

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

## (参考) 米国のトウモロコシの国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1005.90

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

## 【貿易動向：コーンスターチ】

### 12月の輸出量は前年同月から大幅に上昇し、前月よりわずかに減少

2021年12月の米国のコーンスターチ輸出量は、1万4304トン（前年同月比16.7%増、前月比0.7%減）と前年同月から大幅に上昇し、前月よりわずかに減少した。同月の主要国別輸出量は、表5の通りである。

同月の輸出価格（FAS）は、1トン当たり657.5米ドル（7万6632円、同8.6%高、同1.8%安）と前年同月からかなりの程度上昇したが、前月からわずかに下落した。

表5 米国のコーンスターチ輸出量（12月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	14,304	16.7%	▲0.7%
うち メキシコ	9,014	21.7%	0.3%
カナダ	3,684	12.2%	0.1%
英国	441	2.8倍	▲26.3%
中国	188	50.4%	▲26.6%
アイルランド	143	—	—
コスタリカ	122	—	6.1倍

資料：「Global Trade Atlas」

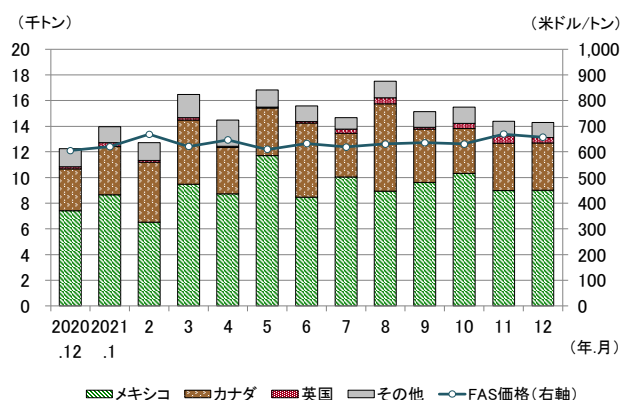
注1：HSコード1108.12

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

注3：「—」は、輸出実績なし。



(参考) 米国のコーンスターチの国別輸出货量および輸出価格の推移



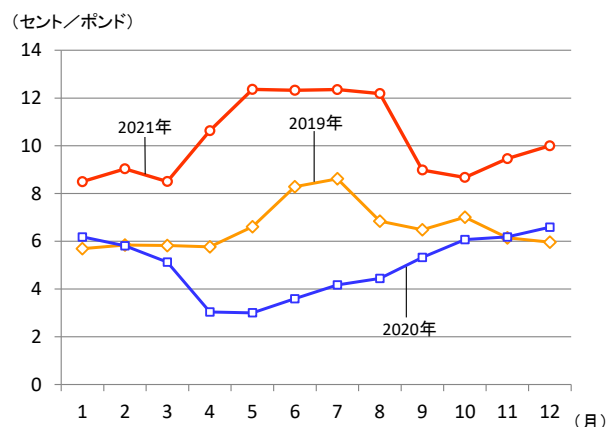
資料：「Global Trade Atlas」  
 注1：HSコード1108.12  
 注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出货量（累計）上位3カ国を表示。

なお、米国農務省経済調査局（USDA/ERS）によると、同国の代表的市場の一つである中西部市場における21年12月の製粉業者の純費用（Net Cost）は、1ポンド<sup>(注)</sup>当たり10.00セント（11.7円、前年同月比51.9%高、前月比5.8%高）と前月

よりやや、依然として前年同月比では大幅に上昇し、高い水準となった。

(注) 1ポンドは約0.45キログラム。

(参考) 米国中西部市場における製粉業者の純費用の推移



資料：USDA/ERS  
 注：価格は米国中西部市場における製粉業者の純費用（Net Cost）。  
 なお、純費用については、トウモロコシ1ブッシェル当たり平均31.5ポンド（1キログラム当たり約0.56キログラム）のでん粉が含まれているものとして、計算されている。

## タピオカでん粉

### タイ

#### 【生産動向】

#### 2021/22年度のキャッサバ生産量は前年度からわずかに増加する見込み

タイ農業協同組合省農業経済局（OAE）の予測（2022年2月現在）によると、2021/22年度（10月～翌9月）のキャッサバの収穫面積は966万ラ

イ（155万ヘクタール<sup>(注)</sup>、前年度比1.4%減、前月同）、単収は1ライ当たり3.39トン（同2.1%増、前月同）、生産量は3273万トン（同0.7%増、前月同）と、21年12月予測からいずれも同量が見込まれている（表6）。

(注) 1ライを約0.16ヘクタールとして農畜産業振興機構が換算。

表6 タイのキャッサバの生産見通し

区 分	一単位一	2019/20年度	2020/21年度 (推計値)	2021/22年度		
				(1月予測)	(2月予測)	前年度比 (増減率)
収穫面積	(万ライ)	892	980	966	966	▲1.4%
単収	(トン/ライ)	3.25	3.32	3.39	3.39	2.1%
生産量	(万トン)	2,900	3,250	3,273	3,273	0.7%

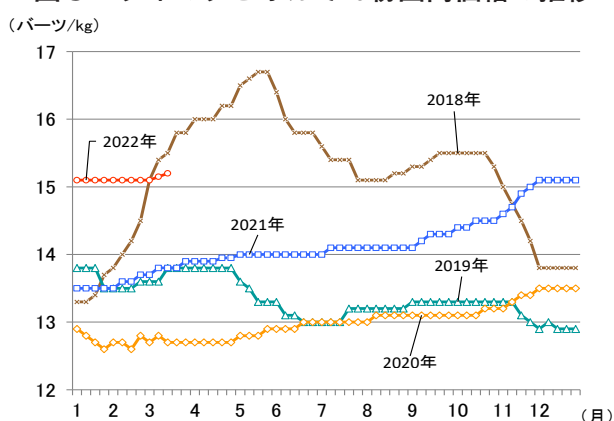
資料：OAE「農業経済2022年2月」  
 注：年度は、10月～翌9月。

## 【価格動向】

### 国内価格、上昇基調が持続し、1キログラム当たり15バーツ台で推移

タイタピオカでん粉協会（TTSA）によると、22年3月第2週のタピオカでん粉の国内価格は、1キログラム当たり15.15バーツ（55円、前年同期比9.8%高、前週比0.3%高）と前年同期からかなりの程度上昇した（図3）。タイ農業・農業協同組合銀行（BAAC）研究・イノベーション開発センターによると、キャッサバの収穫期にあたり供給量が増えるものの、輸出需要が引き続き高いことから、キャッサバ製品の価格は高い水準で推移すると予測されている。

図3 タイのタピオカでん粉国内価格の推移



資料：TTSA「Weekly Tapioca Starch Price」  
注：当該週の原則火曜日の価格。

## 【貿易動向】

### 1月の輸出量、前年同月から大幅に増加し、前月より大幅に減少

22年1月のタピオカでん粉輸出量は、30万4866トン（前年同月比20.0%増、前月比19.4%減）と、前年同月から大幅に増加したものの、前月からは大幅に減少した。同月の主要国別輸出量は、表7の通りである。

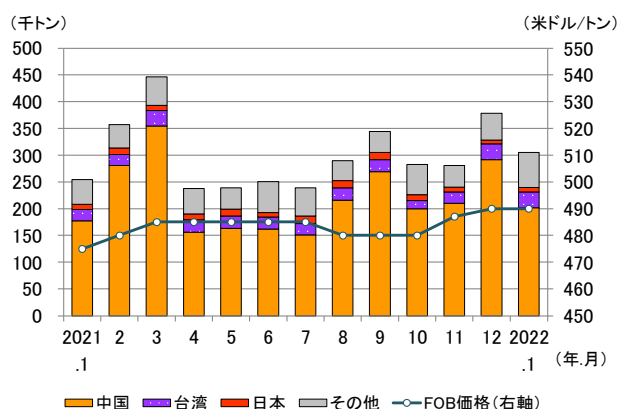
同月の輸出価格（FOB・バンコク）は、1トン当たり490.0米ドル（5万7110円、同3.2%高、前月同）と、前年同月からはやや上昇した。

表7 タイのタピオカでん粉輸出量（1月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	304,866	20.0%	▲19.4%
うち 中国	201,447	13.8%	▲30.9%
台湾	29,507	38.2%	▲1.1%
マレーシア	14,018	4.0%	65.7%
インドネシア	12,885	5.2倍	62.0%
米国	10,318	50.1%	2.7倍
フィリピン	9,235	2.9%	53.7%

資料：「Global Trade Atlas」  
注1：HSコード1108.14  
注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

### （参考） タイのタピオカでん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」、TTSA「Weekly Tapioca Starch Price」  
注1：HSコード1108.14  
注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。  
注3：価格はバンコクのFOB価格。

## ベトナム

### 【生産動向】

#### 主産地の2022/23年度キャッサバ作付面積は前年度並みの見込み

ベトナムの調査会社（AgroMonitor）によると、2022年1月現在、次期作に向けた作付けが進んでおり、2022/23年度の作付面積は、前年度並みになると見込まれている。

同国で最もキャッサバ生産が盛んな南部中央高原地域のザライ省では、8万ヘクタール（前年度比2.0%減）とわずかに減少が見込まれている。この



要因として、取引価格が安定し高収入が見込まれる果樹などへの転作が進むことが考えられる。

一方で、ザライ省に次ぐキャッサバの産地である南部南東地域のタイニン省では、6万500ヘクタール（同3.8%増）とやや増加が見込まれている。

なお、キャッサバモザイク病<sup>(注1)</sup>は1月1日現在、中央直轄5都市および58省のうち1市17省（前月から2省減少）などの合計4万1734ヘクタール（12月23日比6.8%減）で感染が確認され、減少傾向の鈍化が確認された<sup>(注2)</sup>。

(注1) ウイルスの感染によって葉に黄化斑ができる病気で、光合成が十分に行われず、最悪の場合には作物自体が枯れてしまうことから、収穫量が大幅に減少する。ベトナムのほかに、近隣国のタイやカンボジアの一部で流行が確認されている。

(注2) 同国のキャッサバ作付面積は、近年、おおむね50万ヘクタール程度で推移している。

## 【貿易動向】

### 1月の輸出量は前年同月から大幅に、前月からかなりの程度減少

AgroMonitorによると、22年1月のタピオカでん粉輸出量は、17万1090トン（前年同月比43.8%減、前月比6.7%減）と前年同月から大幅に、前月からかなりの程度減少した。同国の主要国別輸出量は、表8の通りである。

同月の輸出価格（CFR<sup>(注)</sup>・中国向け）は、1トン当たり508米ドル（5万9207円、同13.4%高、同2.1%安）と、前年同月からはかなり大きく上昇したものの、前月からはわずかに下落した。

(注) Cost and Freightの略。輸入港までの海上運賃を売主が負担し、危険負担は物品を引き渡した際に売主から買主に移転される取引条件であり、コンテナ輸送貨物に使われることが多い。

表8 ベトナムのタピオカでん粉輸出量（1月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	171,090	▲43.8%	▲6.7%
うち 中国	165,202	▲44.0%	▲6.8%
台湾	3,596	▲34.5%	0.2%
シンガポール	533	70.8%	▲31.0%
韓国	344	1.2倍	—
米国	307	17.1倍	3.4倍
フィリピン	157	▲91.2%	▲86.8%

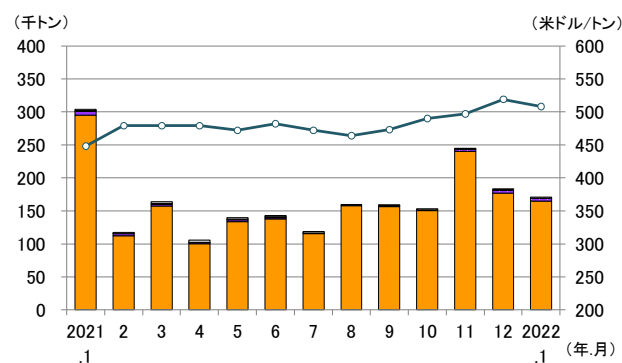
資料：ベトナム関税総局のデータを基にAgroMonitor作成

注1：HSコード1108.14

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

注3：「—」は、輸出実績なし。

### (参考) ベトナムのタピオカでん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



■中国 ■台湾 ■フィリピン ■その他(上位3カ国以外) —CFR価格(右軸)

資料：ベトナム関税総局のデータを基にAgroMonitor作成

注1：HSコード1108.14

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

注3：輸出価格は、中国向けCFR価格。

# ばれいしょでん粉

## E U

### 【貿易動向】

#### 12月の輸出量、前年同月からは大幅に増加し、前月からは大幅に減少

2021年12月のばれいしょでん粉輸出量<sup>(注)</sup>は、3万832トン（前年同月比16.9%増、前月比22.0%減）と前年同月からは大幅に増加したものの、前月からは大幅に減少した。同月の主要国別輸出量は、表9の通りである。

また、同月の輸出価格（FOB）は、1トン当たり618ユーロ（8万859円、同1.4%安、同5.0%高）と前年同月からわずかに下落したものの、前月よりやや上昇した。

(注) EU27カ国による輸出。輸出先の不明なものを除く。

表9 EUのばれいしょでん粉輸出量（12月）

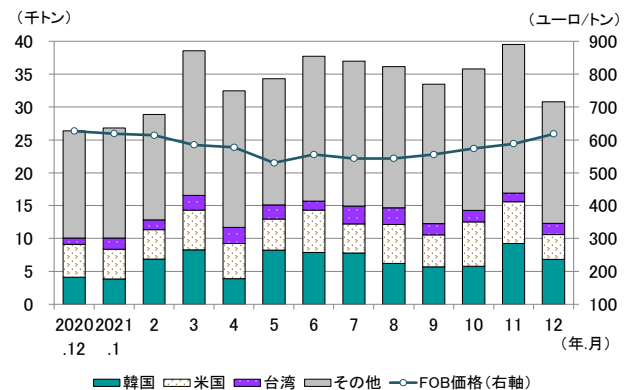
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	30,832	16.9%	▲22.0%
うち 韓国	6,842	66.1%	▲25.8%
米国	3,767	▲24.5%	▲41.0%
台湾	1,728	81.1%	35.3%
英国	1,685	18.5%	▲24.2%
メキシコ	1,386	32.5%	14.4%
ハルバー	1,370	2.1倍	▲14.3%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.13

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

#### (参考) EUのばれいしょでん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1108.13

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

注3：輸出先の不明なものを除く。

## コラム グルテンフリーをめぐる欧州の動向

欧州では、食品ラベルの表示規則（Regulation (EU) No1169/2011）の下で、グルテンフリーに係る実施規則（同828/2014）がコラム表1の通り、定められている。

コラム表1 欧州のグルテンフリーに係る規則

項目	概要
「グルテン」の定義	小麦、ライ麦、大麦、オート麦、それらの交雑種や派生物から得られるタンパク質と水によって生成される、一部の人が不耐性を持つもの。
「グルテンフリー」の表示要件	最終消費者に販売される食品中に、1キログラム当たり20ミリグラムを超えるグルテンを含まないこと。
「低グルテン」の表示要件	最終消費者に販売される食品中に、グルテン含有量を低減するために特別な加工を施した原料（小麦、ライ麦、大麦、オート麦、またはそれらの交雑種）を一つ以上含むが、1キログラム当たり100ミリグラムを超えるグルテンを含まないこと。

注：グルテンを完全に除去することは困難であるため、少量のグルテンを含む場合でも「グルテンフリー」と表記することが認められている。

グルテンフリーは、セリアック病（グルテンを摂取することで腸の細胞が破壊されてしまい、腹痛や倦怠感などさまざまな不調が生じる病気）に対する食事療法として開発された背景があるため、「グルテンフリー」や「低グルテン」の表記のほかにも、「セリアック病患者のために特別に調整された」などの記述が認められている。また、欧州で販売されているグルテンフリー製品は、欧州セリアック病協会(AOECs)の認証ラベルを使用しているものが多く、同協会によると、第三者による認証ラベルの有無が、消費者がグルテンフリー製品を購入する際の大きな判断材料となっているという（コラムー図）。

### コラムー図 グルテンフリーの認証ラベル



資料：AOECS

2021年9月、ベルギーの首都ブリュッセル市内の一般的なスーパーマーケットで、グルテンフリー製品の販売実態を調査した結果は、コラムー表2の通りである。グルテンフリー製品の原材料を見ると、でん粉を使用したものが多くあったが、全ての製品で使用されているわけではなく、でん粉以外にはトウモロコシ粉や米粉の使用が確認された。スターチヨーロッパ (Starch Europe<sup>(注)</sup>) によると、欧州のグルテンフリーに係る規則に基づくと、小麦でん粉やその加工品は、基準値となる1キログラム当たり20ミリグラムを超えるグルテンを含まないため、「グルテンフリー」として取り扱うことが可能とされている。しかし、今回の調査では小麦でん粉を使用したグルテンフリー製品は確認されなかった。

(注) スターチヨーロッパは2022年3月現在、EU20カ国のでん粉製造企業28社が加盟する業界団体である。EUのでん粉生産量のうち95%がスターチヨーロッパの加盟企業で生産されている。

コラムー表2 スーパーマーケットで販売されているグルテンフリー製品の販売実態（ベルギー）

項目	主な原材料	価格	認証ラベルの有無
パン	米粉、タピオカ粉、ばれいしょでん粉など	350グラム当たり 3.99 ユーロ (522円)	○
パスタ	トウモロコシ粉、米粉など	1キログラム当たり 6.98 ユーロ (913円)	○
	(参考) 従来品は、デュラム小麦粉など	1キログラム当たり 4.56 ユーロ (597円)	-
クッキー	トウモロコシ粉、テフ粉 <sup>(注)</sup> 、米粉など	1キログラム当たり 30.47 ユーロ (3986円)	○
クレープ粉	コーンスターチ、ばれいしょでん粉、砂糖など	1キログラム当たり 18.86 ユーロ (2468円)	○
	(参考) 従来品は、小麦粉、砂糖、粉乳など	1キログラム当たり 5.32 ユーロ (696円)	-

注：テフ粉とは、エチオピア原産のイネ科の穀物。栄養価が高く、グルテンを含まないことから小麦粉の代替として使用されることが多い。

# 化工でん粉

デキストリンおよびその他の化工でん粉（以下「化工でん粉」という）の主要輸出国による主要仕向け先国別輸出量および輸出価格は、以下の通りである。

## タイ

### 【貿易動向】

1月の輸出量、前年同月からかなりの程度増加し、前月からはやや減少

2022年1月の化工でん粉の輸出量は、9万1981トン（前年同月比6.7%増、前月比5.3%減）と前年同月からかなりの程度増加したものの、前月からはやや減少した。同月の主要輸出先別の輸出量は、表10の通りである。

表10 タイの化工でん粉輸出量（1月）

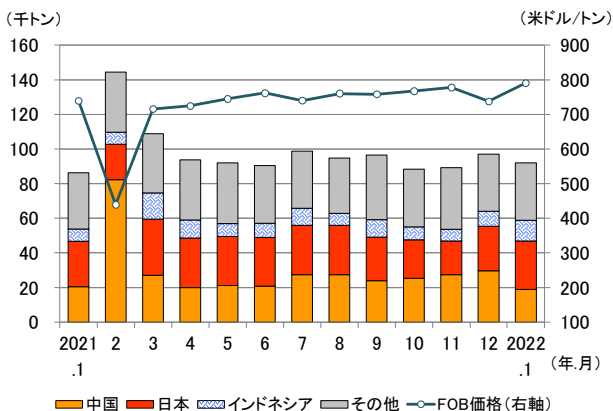
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	91,981	6.7%	▲ 5.3%
うち 日本	27,912	6.7%	9.4%
中国	18,855	▲ 7.8%	▲ 36.6%
インドネシア	12,128	70.7%	38.6%
韓国	7,890	20.4%	13.7%
米国	4,071	13.3%	29.3%
ベトナム	3,357	6.9%	▲ 7.2%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

### （参考） タイの化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

## 米国

### 【貿易動向】

12月の輸出量、前年同月から大幅に増加したものの、前月からはかなりの程度減少

2021年12月の化工でん粉の輸出量は、2万6405トン（前年同月比19.1%増、前月比10.4%減）と前年同月から大幅に増加したものの、前月からはかなりの程度減少した。同月の主要国別輸出量は、表11の通りである。

表11 米国の化工でん粉輸出量（12月）

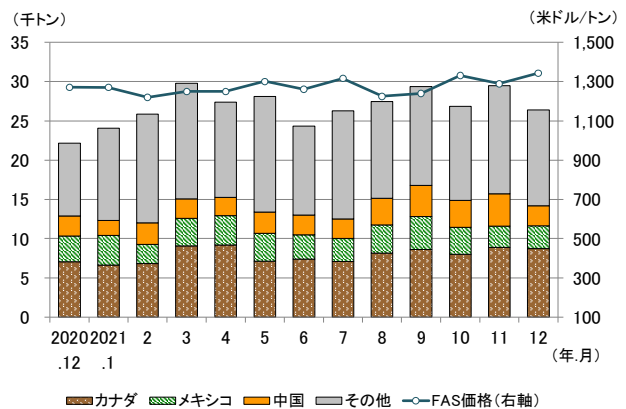
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	26,405	19.1%	▲ 10.4%
うち カナダ	8,759	23.9%	▲ 1.1%
メキシコ	2,856	▲ 12.3%	4.5%
中国	2,602	2.1%	▲ 37.2%
南アフリカ	1,329	51.0%	62.9%
英国	857	2.8倍	81.2%
日本	837	15.1%	▲ 34.6%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

### （参考） 米国の化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

## 中国

### 【貿易動向】

#### 1月の輸出量、前年同月から大幅に、前月からはかなり大きく増加

2022年1月の化工でん粉の輸出量は、1万1180トン（前年同月比55.0%増、前月比13.6%増）と前年同月から大幅に、前月からはかなり大きく増加した。同月の主要輸出先別の輸出量は、表12の通りである。

表12 中国の化工でん粉輸出量（1月）

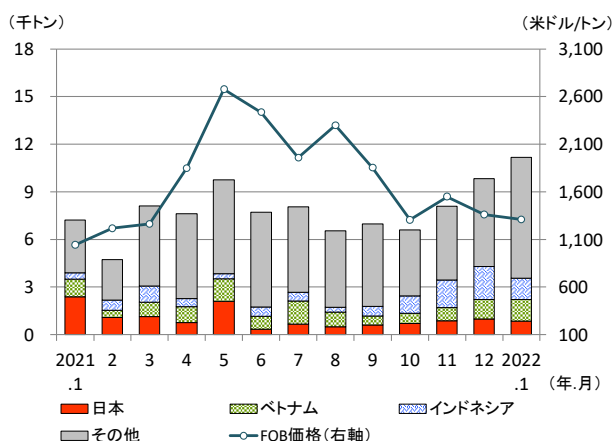
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	11,180	55.0%	13.6%
うち 台湾	1,825	5.0倍	2.3倍
ベトナム	1,353	22.2%	9.6%
インドネシア	1,343	3.4倍	▲35.8%
日本	858	▲64.2%	▲12.8%
マレーシア	765	10.2%	▲48.2%
韓国	620	69.4%	50.5%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

#### （参考）中国の化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

## EU

### 【貿易動向】

#### 12月の輸出量、前年同月からかなり大きく増加するも、前月からはやや減少

2021年12月の化工でん粉の輸出量<sup>(注)</sup>は、5万4472トン（前年同月比12.7%増、前月比3.9%減）と、前年同月からかなり大きく増加したものの、前月からはやや減少した。同月の主要輸出先別の輸出量は、表13の通りである。

(注) EU27カ国による輸出。輸出先の不明なものを除く。

表13 EUの化工でん粉輸出量（12月）

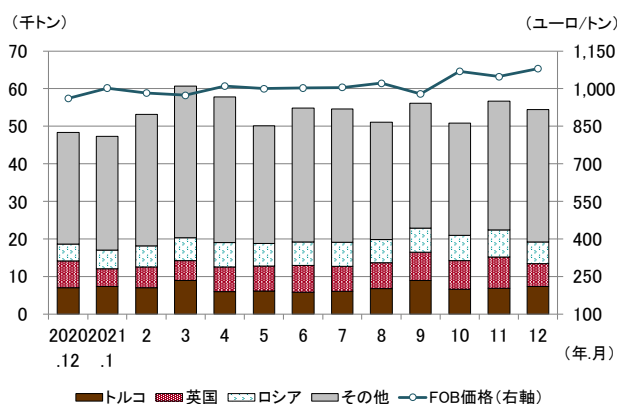
輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	54,472	12.7%	▲3.9%
うち トルコ	7,321	4.0%	6.0%
英国	6,129	▲13.5%	▲26.4%
ロシア	5,730	26.0%	▲19.7%
日本	4,141	90.3%	12.4%
中国	3,727	▲26.1%	▲9.1%
米国	3,305	50.3%	▲4.1%

資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位6カ国を表示。

#### （参考）EUの化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

注3：輸出先の不明なものを除く。

## 豪州

### 【貿易動向】

12月の輸出量、前年同月から大幅に増加するも、前月からはかなり大きく減少

2021年12月の化工でん粉の輸出量は、2866トン（前年同月比18.1%増、前月比11.7%減）と前年同月から大幅に増加するも、前月からはかなり大きく減少した。同月の主要輸出先別の輸出量は、表14の通りである。

表14 豪州の化工でん粉輸出量（12月）

輸出先	輸出量 (トン)	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
合計	2,866	18.1%	▲ 11.7%
うち 米国	1,912	12.9%	16.1%
日本	833	44.1%	▲ 42.8%
ニュージーランド	46	▲ 49.5%	▲ 66.9%
台湾	36	—	—

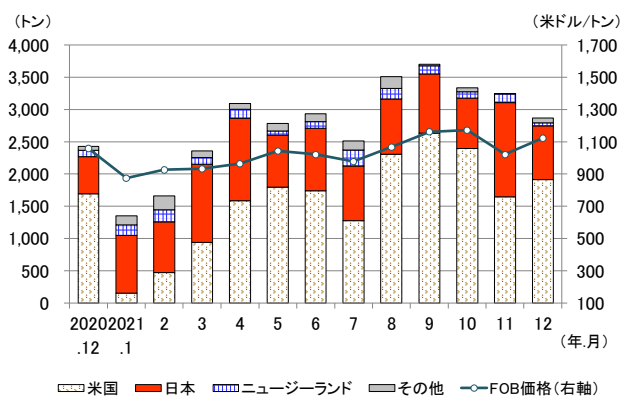
資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、当該月の輸出量上位4カ国を表示。

注3：「—」は、輸出実績なし。

### (参考) 豪州の化工でん粉の国別輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード3505.10

注2：国別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。